«浦和特別支援学校の活性化・特色化方針»

種別	知的障害	学部・学科	小学部・中学部・高等部	R7.5.1 児童・生徒数	(男) ２１５ (女) ７４	計２８９
アクセス	JR 浦和駅　または　JR・埼玉高速鉄道　東川口駅よりバス 浦和特別支援学校前　下車徒歩３分 http://www.urawa-sh.spec.ed.jp					

浦和特別支援学校HP
http://www.urawa-sh.spec.ed.jp/

＜教育課程等＞

※学部間の系統性を踏まえた教育活動の充実に取り組んでいます。

(小学部)

・生活面では、日常生活に必要な基礎的な力の育成に取り組んでいます。
・学習面では、教員や友だちとの関わりの中でコミュニケーションの力を伸ばすことも大きなねらいとしています。

(中学部)

・小学部で学んだ基礎的な力を土台に卒業後の生活を見据えた課題に迫り、身につけていきます。
・身辺自立の仕上げ、生活に根ざした学習認知面の向上、進んで体を動かしたり、動きを持続したりできるように、適切な体の使い方や体力の向上等を目指しています。

(高等部)

・卒業後の生活を見据えた、習慣やコミュニケーション能力の育成に取り組んでいます。
・高２から３つの教育課程を編成し、生徒の実態に合わせた教育活動を行っています。

＜学校行事・部活動＞

体育的行事や文化的行事（げんき祭り）は、小学部・中学部・高等部と学部毎に行われています。
小５～高２は校外宿泊学習または、修学旅行があります。（中学部１年生を除く）
高等部では、部活動を行っています。種目は、サッカー、バスケットボール、陸上等です。県内の特別支援学校対抗の陸上大会、サッカー大会、バスケットボール大会のほか、ふれあいピックなどにも参加しています。

＜家庭・地域との連携＞

保護者対象の授業参観のほか、就学・入学をお考えの方や、地域の方、関係者向けの見学会を年６回実施しています。また、施設・企業の方向けの見学会も随時行っています。
各学部では、さいたま市内の小学校・中学校・高校と交流会を行っています。高等部と県立高校との交流は２６年を迎えました。
ＰＴＡ主催のどんどん祭り（１２月土曜日）を実施しています。
キャリア教育の一環として、高等部作業班で近隣施設の清掃活動や、各作業班で作成した製品頒布などにも取り組んでおります。また、職業教育フェアにも参加しています。

＜進路＞

高等部　実習などを通して、高等部卒業後の進路先を決定します。
【企業就労】サービス業（レストラン）、流通業、清掃業、事務、製造業など
【福祉的就労】さいたま市、蕨市、川口市、戸田市の福祉施設などを利用

企業就労	０	通所作業所	２７	その他	４	計	３１	名

小学部・中学部　児童生徒はそれぞれ、中学部、高等部に進学します。

２　埼玉県立浦和特別支援学校　育成方針（～児童生徒の成長物語～）

浦和特別支援学校　学校教育目標「明るく　仲良く　学ぶ　浦和っ子」

小学部低学年

のびのびと元気な児童
自分の気持ちを伝える児童
いきいきと学ぶ児童

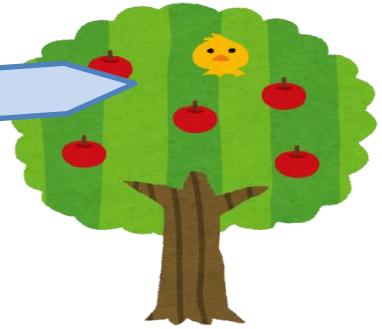
小学部高学年

元気で楽しく生活する児童
大人や友達と仲良く遊べる児童
自分で考え、行動する児童

中学部

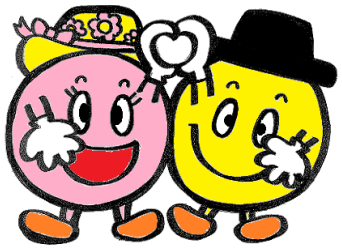
健康で逞しい生徒
友達と仲良くする生徒
よく考える生徒

高等部



健康で文化的に生きる力を持った生徒
様々な集団の中で協力し、高め合える生徒
生活や働くことに主体的に取り組める生徒

学部間の系統性を踏まえた指導の充実



浦和特支のマスコット
はっぴーちゃんとげんきくん

体育的行事（体育参観日）

文化的行事（げんき祭り）

保健指導

・肥満防止指導「すくすく教室」
・歯科衛生士による「はみがき教室」
・助産師による「性に関する指導」　ほか

進路指導

高等部では企業や福祉施設と連携して２、３年生で現場実習を行っています。
２年生では「自分に合った進路先を考える」
３年生では「卒業後の進路先を決定する」ことをねらいとし、年２回程度、１回につき３日間～１０日間行います。

食育

・季節感のある給食
・「リクエスト献立」
・「言語聴覚士と連携した献立」
ほか

交流及び共同学習

居住地の小、中学校との交流及び共同学習（支援籍学習）を希望者に実施しています（Ｒ７　２１名）

センター的機能

さいたま市特別支援ネットワークと連携し、地域の特別支援センター的役割としてコーディネーター等による巡回、支援を行っています。